



人権同和教育旬間始まる

10月29日(月)～11月9日(金)までは後期人権同和教育旬間です。この期間中は以下のような取り組みを行います。

- 人権同和教育の授業を重点的に行う ○人権同和教育授業参観(11月8日)
- 人権同和教育講演会 中田真也さん「車いすスポーツを通して」(11月8日)
- 学社連携人権同和教育懇談会(人権同和教育推進委員参加)
- 人権同和教育授業研究会(10月31日 3年4組)
- 人権委員会の活動

・人権集会 ・いじめ撲滅宣言作成 ・全校生徒による人権標語の作成 ・全校アンケート
・人権関係の住民集会への参加 ・ポスター作り ・人権展示 ・人権委員会の作文発表
参観日、講演会には多くの保護者の皆様のご来校をお願い致します。



交通事故に要注意



「秋の日はつるべ落とし」と言われますが、10月も末を迎え、日が短くなっています。部活動を終え帰宅するのは薄暮に当たり、交通事故が大変多い時間帯です。また、朝は出勤の車などスピードを出して走行するケースが多く、この時間帯も事故が多く危険です。学校では毎日係が道路に出て下校指導を行っています。ご家庭でも朝は時間にゆとりを持って送り出したり、一言「気をつけて」と声かけをして見送ったりして頂くなど、安全に登下校できるようご配慮をお願い致します。

地震発生時の対応 家庭掲示用を配布しました

昨年の3月11日に起きました東日本大震災は多くの被害をもたらし、1年半以上経った今もその影を至る所に落としています。専門家の研究によると、東日本大震災と同規模の地震は過去にも発生していて、今後も発生することは十分考えられるということです。日本列島どこにおいても、いつ何時同じような災害が起きるとも限らない状況なわけです。

そこで、万が一大きな地震が起こったときに備え、ご家庭で対応をしていただくために、「家庭掲示用」を作成いたしました。各家庭では、配付されましたら、家族で内容を確認頂き、目に付く所に掲示して頂くようお願い致します。



10月校長講話

10月5日に京都大学iPS研究所所長、山中伸弥さんの大変興味深い面白いお話を聞きました。

内容：中高一貫校の学生時代先生から、テストをして分からなくても空欄にするな、あきらめるな、と言われた。自分の力で考え人に伝えることの大事さ、人に頼らず自分でやることの大切さを中高で学んだ。その学生時代柔道をやっていて何度も骨折をした。その苦労体験から医者になりたいと一生懸命勉強したが技術面が余り上手でなく落ちこぼれたような思いで毎日悩んでいた。そんな時、患者の中に脊髄損傷の人がいて、この人たちを何とかできないかと思いアメリカに渡り勉強をした。そこでVWのことを学んだ。V：ビジョン(展望、見通し) W：ワークハード(一生懸命働く)見通し、計画を持って一生懸命に働くことが大事だということ学んだ。

この話を聞いて夢を持って最後まであきらめず頑張ることが大事だということ学ばしました。

